

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	一般県道 和歌山海南線	(7) 施策目標	(6) 歩道設置や交差点改良等による交通事故の減少
(2) 施工場所	和歌山市 布引	(8) 事業の狙い	当該箇所は、事故が非常に多い箇所である。このため、当事業により、事故危険箇所対策を行い、事故の低減を図る。
(3) 事業名	道路保全事業(交通安全)		
(4) 担当部課	道路保全課	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)	[指標名] 距離あたりの事故発生件数
(5) 総事業費	150 百万円		[指標値、現象] 25.56件/年・km
(6) 事業期間	令和6年度～令和8年度		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較		
		当該事業案	主な代替案	
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 交差点改良 [他の事業内容] -	[主な事業内容] - [他の事業内容] -	
	② 主要な事業内容の位置・ルート	布引交差点	-	
	③ 主要な事業内容の規模	交差点改良 L=200m	-	
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 距離あたりの事故発生件数 [効果の大きさ] 事故発生件数の減少	[指標名] [効果の大きさ]	
	② 効果発現のポイント	交差点改良により、交通流の円滑化及び歩車分離を図り、事故の件数を減少。		
(3) 副次効果	① 主な副次効果	公共交通機能の確保・保全		
	② 効果発現のポイント	歩道整備により運行の安全性を確保する。		
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	既設道路の事故危険箇所対策をする事業であり、代替案なし。 (特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)
		<input type="checkbox"/> 代替案あり	主な事業内容の規模の妥当性	
		<input type="checkbox"/> 事業内容の組み合わせ		
		<input type="checkbox"/> 主な事業内容の位置・ルート		
<input type="checkbox"/> 主な事業内容の規模		(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)		

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	① 便益	<input type="checkbox"/> 分析対象	[現在価値合計] 千円
		<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象外	[主な内訳]
			千円
			千円
			千円
	② 費用		[現在価値合計] 千円
	③ 分析結果		[費用便益比] [純現在価値] 千円
	④ 分析結果に関する特記事項		
	⑤ 参考資料名		
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり	<input checked="" type="checkbox"/> 影響事項なし	
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
(2) 県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律 (交通事故が多い道路や交通安全を確保する必要がある道路について、道路管理者が総合的な計画の下に事業を実施し交通環境の改善や交通事故の防止を図る。)
	<input type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入)
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり	(地元協力の内容等を記入)
	<input type="checkbox"/> 協力なし	和歌山市の全面的な協力が得られている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公団、他部門の法令等に係る調整))
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
	<input type="checkbox"/> 再検討	
	<input type="checkbox"/> 妥当(条件付き)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	
総合所見	本事業は、事故が多い箇所の対策であり、事故件数を減らし交通の安全を早急に確保するため妥当と判断される。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	一般県道 古井西の地線	(7) 施策目標	(6) 歩道設置や交差点改良等による交通事故の減少
(2) 施工場所	印南町 西ノ地	(8) 事業の狙い	当該区間は小・中学校の通学路であるが、歩道が無く危険な状態である。このため、当事業により歩道を整備することで、歩行者の安全確保を図る。
(3) 事業名	道路保全事業(交通安全)		
(4) 担当部課	道路保全課		
(5) 総事業費	13 百万円	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)	[指標名] 距離あたりの事故発生件数
(6) 事業期間	令和6年度～令和6年度		[指標値、現象] 0.83件/年・km

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較		
		当該事業案	主な代替案	
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 歩道整備 [他の事業内容] -	[主な事業内容] - [他の事業内容] -	
	② 主要な事業内容の位置・ルート	切目小学校、中学校と印南町内の国道42号を結ぶルート上	-	
	③ 主要な事業内容の規模	歩道整備 L=80m	-	
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 距離あたりの事故発生件数 [効果の大きさ] 事故発生件数の減少	[指標名] [効果の大きさ]	
	② 効果発現のポイント	歩道整備により、歩車分離を図り歩行者の安全を確保するとともに、事故発生件数の減少が期待される。		
(3) 副次効果	① 主な副次効果	公共交通機能の確保・保全		
	② 効果発現のポイント	バス路線であるため、歩道整備により運行の安全性を確保する。		
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	既設道路に歩道を整備する事業であり、沿道家屋等の制約があるため、代替案なし。 (特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)
		<input type="checkbox"/> 代替案あり	主な事業内容の規模の妥当性	
		<input type="checkbox"/> 事業内容の組み合わせ		
		<input type="checkbox"/> 主な事業内容の位置・ルート		
<input type="checkbox"/> 主な事業内容の規模		(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)		

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	① 便益	<input type="checkbox"/> 分析対象	[現在価値合計] 千円
		<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象外	[主な内訳]
			・ 千円 ・ 千円 ・ 千円
	② 費用		[現在価値合計] 千円
	③ 分析結果		[費用便益比] [純現在価値] 千円
④ 分析結果に関する特記事項			
⑤ 参考資料名			
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		

#### 4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり		
		<input checked="" type="checkbox"/> 影響事項なし		
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

#### 5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
(2) 県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律 (交通事故が多い道路や交通安全を確保する必要がある道路について、道路管理者が総合的な計画の下に事業を実施し交通環境の改善や交通事故の防止を図る。)
	<input type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入)
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

#### 6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり	(地元協力の内容等を記入)
	<input type="checkbox"/> 協力なし	印南町の全面的な協力が得られている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公団、他部門の法令等に係る調整))
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

#### 7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
	<input type="checkbox"/> 再検討	
	<input type="checkbox"/> 妥当(条件付き)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	
総合所見	本事業は、早急に通学路の安全を確保する必要があるため、妥当と判断される。	